

第 2 回愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会 会議録（概要）

会 議 名	第 2 回愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会
開 催 日 時	令和 8 年 3 月 2 6 日（木） 午後 2 時から午後 3 時 10 分まで
開 催 場 所	愛西市佐屋保健センター 2 階 会議研修室
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	別紙のとおり
協 議 事 項 等	1 あいさつ 2 協議事項 (1) 第 3 次愛西市健康日本 21 計画アクションプランについて (2) 健康日本 21 計画推進スケジュール（案）について 3 グループワーク 4 その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0 人
会 議 資 料	次第 名簿 愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会設置要綱 愛西市審議会等の会議公開に関する要綱 資料番号 1 - 1 資料番号 1 - 2 資料番号 1 - 3 資料番号 2
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市健康日本21計画推進委員会委員

役 職	所 属 等	氏 名	備 考
委 員	愛西市歯科医師	前 川 明 之	
〃	愛西市社会福祉協議会	竹 村 ゆき子	
〃	全国健康保険協会愛知支部	北 村 亜 希	
〃	愛西市保育協会	堀 田 真 吾	欠席
〃	津島保健所総務企画課	平 澤 秋 子	欠席
〃	愛西市健康づくり食生活改善推進協議会	土 方 美津恵	
〃	愛西市健康づくり運動推進協議会	野 島 聡 美	
〃	あいさいスポーツクラブ	鹿 島 輝 夫	欠席
〃	愛西市商工会	加 賀 隆	
〃	愛西市観光協会	水 谷 健 太	
〃	愛西市内小学校養護教諭	伊 藤 真由美	
〃	愛西市内中学校養護教諭	堀 田 恵理子	
〃	市民代表	小 林 由利江	
〃	市民代表	中 野 秀 昭	

アドバイザー

所 属 等	氏 名	備考
藤田医科大学客員教授	巽 あさみ	

事務局

所 属 等	氏 名	備考
【健康日本21計画、自殺対策計画】		
健康子ども部長兼こども家庭センター長	人 見 英 樹	
保険福祉部参事	青 井 優	欠席
健康子ども部健康推進課長	村 瀬 さやか	
健康子ども部健康推進課長補佐	藤 澤 花 鈴	
健康子ども部健康推進課長補佐	藤 松 志 乃	
健康子ども部健康推進課主査	奥 田 拓	
健康子ども部健康推進課主任	牛 田 雄 貴	
健康子ども部健康推進課主任	麻 西 志 保	
健康子ども部健康推進課主事	浅 井 彩 乃	
健康子ども部健康推進課主事	瀧 上 萌 愛	
【食育推進計画】		
産業建設部長	宮 川 昌 和	
産業建設部産業振興課長	清 水 直 樹	
産業建設部産業振興課主事	山 口 遼	
産業建設部産業振興課主事	島 田 夏 希	

審議経過

発言者	内容（概要）
委員長	1 あいさつ ＜委員長よりあいさつ＞
委員長	2. 協議事項 協議事項(1)「第3次愛西市健康日本21計画アクションプランについて」、 (2)「健康日本21計画推進スケジュール(案)について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(1)「第3次愛西市健康日本21計画アクションプランについて」、(2)「健康日本21計画推進スケジュール(案)について」 事務局より、資料番号1-1、1-2、1-3、2に基づき説明
委員長	事務局の説明について、ご質問、ご意見ありますか。 (質問、意見なし)
委員長	協議事項3「グループワークについて」事務局から説明をお願いします。
事務局	(2) グループワークについて 事務局より説明
事務局	1 グループでは、「身体活動・運動」についてグループワークを行いました。 現在の取り組みを共有した上で、課題としては、まず周知方法です。SNSやHP、広報等で周知をしていますが、市民は情報に気づかず、イベント自体を知らなかったという現状でした。周知については今後、関係機関と連携して、どう見せていくか情報共有をしていきます。 次の課題としては、運動するきっかけづくりと習慣化してもらう工夫です。今後、新たなウォーキングマップを活用しウォーキングイベントを開催し、きっかけをつくる必要があると感じました。市と関係機関が連携することで、働く世代や小中学生に対してもアプローチできるのではないかという意見がありました。継続できる環境づくりについては、市や各団体がやっている取り組みをスポーツクラブのメニュー表のように一覧表にして、興味のあることに目を向けてもらう仕掛けづくりをすることで、継続できるきっかけになるのではないかという意見がありました。
事務局	2 グループでは、「生活習慣病の発症予防と重症化予防」についてワークを行いました。 現在の取り組みとしましては、協会けんぽや商工会は健康診査やがん検診の実施をしています。若年から健康管理の意識づけのために、20～30代向けに受診勧奨をしています。歯科医院では、必要な治療につながるように、丁寧な現状把握、個々の状態に合わせた受診のメリット、未受診のデメリットの説明をしています。食生活改善推進員では、過去に健康まつりやマラソン

	<p>イベント等で市職員と連携しながら減塩味噌汁の試食を実施し、食生活を通じた生活習慣病予防のアプローチを行っていました。社会福祉協議会では、老人クラブやサロン活動への支援の中で、市の出前講座を利用しながら、健康の情報提供をしています。市民の取り組みは、毎日体重を測定してスマホのアプリに入力している意見がでました。周知している「あいち健康プラス」を使えば、体重管理だけでなく歩数やウォーキングコース等の情報も得られるため、気軽に健康管理ができます。</p> <p>取り組みにおける課題は、健診の受診勧奨をしても忙しさや疲れ等を理由に受診されないことや、受診結果の分析やそれに応じたアプローチが十分にできていないことが挙げられました。近年はハラスメントやメンタルヘルスケアも重要視されており、課題が多岐にわたっていることから健康経営の難しさがあります。特に愛西市の場合は中小企業が多く、家族で経営している事業所も多いため個人、家族単位での健康管理も必要となっています。周知方法の面でも課題として意見がでたため、それらも含めて健康づくりを支援している同じ立場として、連携して共同していくことが必要であるという意見がありました。</p> <p>さらに、健康意識を変えていくためにはまず現状把握から始まるため、簡単な取り組みとして体重測定は有効的と感じました。「あいち健康プラス」の活用も併せて体重測定できる工夫を考える必要があると感じました。</p>
アドバイザー	<p>今回の計画のキーワードでもある、「連携」についてですが、「連携」は自然に起きないため、意図的に形にしていくことが必要になります。ただ、全体をつなぐことは難しいため、まずは1つの団体、1つの地区から始めて、少しずつ広げていくのが有効的です。また、グループワークにて「情報発信」と「見える化」について課題が挙がっていましたが、横のつながりを使って徐々に広げていくというもの1つ可能性としてあります。また、“こんな取り組みやイベントをやっています”、といった告知も大事ですが、取り組んだことでどのような成果が出たのか、参加してみてどう感じたか等を可視化することで、継続の励みや、活動の勢いにつながります。また、行動変容のきっかけ作りとしては、「健康のため」という目的ではなく、「仲間ができて楽しい」といったことを強調することで、参加者が増えるポイントになってくると思います。また、働く世代の方で、健康への意識があるが行動まで移らない人もいます。そういう場合は、企業間で体重測定した人数がどちらの方が多いか、といったような競争をすることで行動変容に成功した事例もあります。</p> <p>今後の推進の中で、2つの重点分野に絞って推進していく方法はとてもいいと思います。地域の強みを生かしながら課題に取り組むための推進をしていくことが大事であると思いました。</p>
委員長	<p>4 その他 事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>ウォーキングロードマップについて</p>

事務局	事務局より説明 次回開催時期については令和8年5月21日（木）を予定しています。 閉会
-----	---